



ZOOM 504II

ACOUSTIC

オペレーションマニュアル

はじめに

このたびは、ZOOM 504 II (以下504 IIと呼びます)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

504 IIの機能を十分に理解し、末永くご愛用いただくためにも、このマニュアルをよくお読みくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

目次

安全上のご注意	2
特長	3
マニュアルで使う用語について	4
電池で使用する場合	5
各部の名称と機能/接続(*入力ゲインの設定)	6
パッチを選んで演奏する	8
チューナー機能を使う	10
パッチを作り替える	12
パッチを保存/コピーする	14
パッチの呼び出し方を変更する	16
フィードバックサプレッサーを使う	18
エクスプレッションペダルを使う	20
工場出荷時の状態に戻す	21
エフェクトのつながり	22
エフェクトパラメーター一覧	23
主な仕様	30
パッチリスト	31
使用上のご注意	
故障かな?と思う前に	

安全上のご注意

この取り扱い説明書では、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。
マークの意味はつぎの通りです。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、または物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にご使用いただくために、つぎの事項にご注意ください。

電源について



警告

- 本製品は、消費電流が大きいため、ACアダプターのご使用をお薦めしますが、電池でお使いになる場合は、アルカリ電池の使用をお薦めします。

ACアダプターによる駆動

- ACアダプターは、必ずDC9Vセンターマイナス300mA(ズームAD-0006)をご使用ください。指定外のACアダプターをお使いになりますと、故障や誤動作の原因となり危険です。
- ACアダプターの定格入力AC電圧と接続するコンセントのAC電圧は必ず一致させてください。
- ACアダプターをコンセントから抜く時は、必ずACアダプター本体を持って行ってください。
- 長時間ご使用にならない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

乾電池による駆動

- 市販の1.5V単乾電池×4本(アルカリ/マンガン)をお使いください。
- 504 IIは充電機能を持っていません。

乾電池の注意表示をよくみてご使用ください。

- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池を504 IIから取り出してください。
- 万一、乾電池の液もれが発生した場合は、電池ケース内や電池端子に付いた液をよく拭き取ってください。
- ご使用の際は、必ず電池ボックスを閉めてください。

使用環境について



注意

- 504 IIをつぎのような場所でご使用になりますと、故障の原因となります。必ずお避けください。
 - 温度が極端に高くなる所や低くなる所
 - 湿度が極端に高い所
 - 砂やほこりの多い所
 - 振動や衝撃の多い所

取り扱いについて



注意

- 504 IIは精密機器ですのでフットスイッチ以外のスイッチ類は足で踏むなど無理な力を加えないようにしてください。
- 504 IIに異物(硬貨や針金など)または液体(水、ジュースやアルコールなど)を入れないように注意してください。
- ケーブルを接続する際は、各機器の電源を必ずオフしてから行ってください。
- 移動させる場合は一旦電源をオフにして必ずすべての接続ケーブルとACアダプターを抜いてから行ってください。

改造について



注意

- ケースを開けたり改造を加えることは、故障の原因となりますので絶対におやめください。
- 改造が原因で故障が発生しても当社では責任を負いかねます。

特長

504 IIは、次のような特長を備えたアコースティックギター/エレクトリックギター用のエフェクトプロセッサーです。

● アコースティックギター専用のエフェクトを満載

アコースティックギターをギターアンプで鳴らしたときのギラつき感を抑えるDe-AMP、サウンドに空気感を加えるAIR、ピッキングの粒立ちを揃えるTOUCHなど、アコースティックギターに最適化されたエフェクトを内蔵。アコースティックギターやエレアコギターを録音する際のプリアンプとしても利用できます。また、エレクトリックギター用にチューンアップされたパッチも搭載されています。

● エレクトリックギターにも対応

エレクトリックギターをアコースティックギターのような響きに変えるシミュレーターを搭載。ライブ演奏中に、エレクトリックギターとアコースティックギターのサウンドを即座に切り替えることができます。

● フィードバックを自動的に抑えるF.B.SUPPRESSORを搭載

フィードバック(ハウリング)を起こす周波数を自動検出するF.B.SUPPRESSORを搭載。演奏中にフィードバックが起きたときも、フットスイッチ操作一発でその周波数ポイントを抑え込みます。

● オートクロマチックチューナー機能を搭載

ギター用のオートクロマチックチューナーを内蔵。ステージ上でも手軽にチューニングが行えます。

● 演奏場所を選ばない2電源方式

ACアダプター以外に、単三電池×4本による駆動も可能な2電源方式。マングン電池で約8時間、アルカリ電池で約28時間の連続使用が可能です。

● フットスイッチやペダルによる操作も可能

オプションのフットスイッチ(FS01)やエクスプレッションペダル(FP01/FP02)を接続するCONTROL IN端子を装備。フットスイッチを使ってフィードバック周波数を自動検出したり、エクスプレッションペダルを使ってボリュームやエフェクト音色をリアルタイムでコントロールできます。

● 504のサウンドをパワーアップ

ベストセラー機ZOOM 504のサウンドを継承しながら、ローコスト&コンパクトサイズを実現。さらに、世界初のアコースティックギター専用WAHエフェクト、レゾネーター付きギターのようなクセのある音色に変身させるEMPHASIZERなど、ユニークな新規エフェクトが搭載されています。

マニュアルで使う用語について

ここでは、マニュアルで使用する504 IIの用語について説明します。

■ エフェクトパラメーター

504 IIのエフェクトは、効果のわかり具合を決定するさまざまな要素を組み合わせたものと考えられます。これらの要素を“エフェクトパラメーター”と呼びます。504 IIには次の図のように10種類のエフェクトパラメーターが内蔵されています。これらエフェクトパラメーターの設定値を変えると、ちょうどコンパクトエフェクターのツマミを回したときと同じように、音色や効果のわかり具合が変化します。



■ エフェクトタイプ

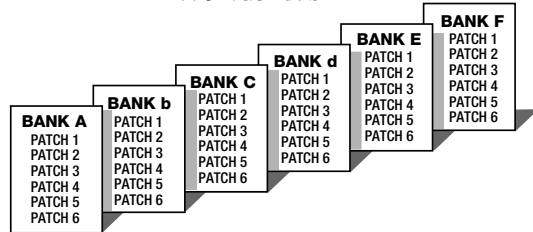
エフェクトパラメーターの中には、効果の種類(これを“エフェクトタイプ”と呼びます)を切り替えて使用できるものもあります。例えば、DLY&REVパラメーターにはLARGE、SMALL、DELAY、DLY+REVという4種類のエフェクトタイプが含まれており、いずれか1つを選んで使用します。

■ パッチ

504 IIでは、“パッチ”と呼ばれる単位で、エフェクトを呼び出したり保存したりします。パッチは、エフェクトパラメーターの設定値やオン/オフ状態を記憶したものです。504 IIでは、本体内のメモリーに最大36のパッチを保存できます。

■ バンク

6つのパッチをひとまとめにしたものを“バンク”と呼びます。バンクは全部で6つあり、それぞれA~Fのアルファベットで区別します。また、1つのバンクに含まれるパッチには、1~6の番号(パッチ番号)が付けられています。504 IIでパッチを指定するときは、A1(バンクAのパッチ番号1)、b6(バンクbのパッチ番号6)のように、バンクとパッチ番号の両方を使用します。



■ プレイモード/エディットモード

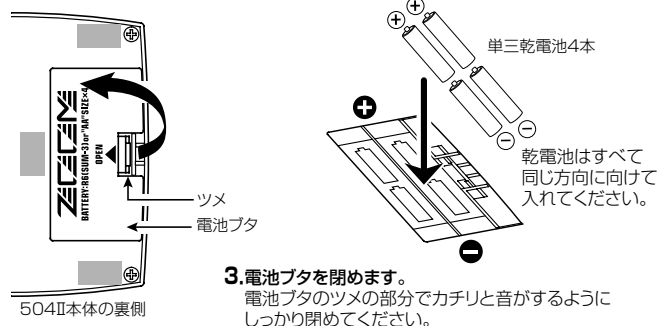
504 II内部の動作状態を“モード”と呼びます。504 IIの主要なモードには、パッチを選択して演奏する“プレイモード”、エフェクトを作り替える“エディットモード”があります。プレイモードとエディットモードは、[PLAY/EDIT]セレクターで切り替えます。

■ グローバルパラメーター

通常エフェクトパラメーターの設定値は、パッチごとに記憶されます。しかし、エフェクトパラメーターの中には、すべてのパッチに共通して働くものもあります。このようなパラメーターを“グローバルパラメーター”と呼びます。グローバルパラメーターの設定内容は、パッチを切り替えても変化しません。

電池で使用する場合

- 1.504 II本体を裏返しにして、電池フタを開けます。
ツメを押して引っ掛かりを外し、フタを上を持ち上げてください。
- 2.電池ケースに単三乾電池×4本を入れます。



- 3.電池フタを閉めます。
電池フタのツメの部分でカチリと音がするようにしっかり閉めてください。

電池は、単三乾電池4本をご使用ください。
電池の残量が少なくなるとディスプレイ下のドット(・)が点滅を始めます。

NOTE 504 IIを使用しないときは、電池の消耗を防ぐためにINPUT端子からプラグを抜いておきましょう。

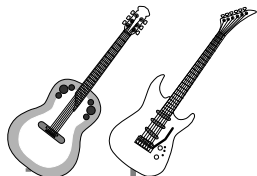
フロントパネル

リアパネル／接続

INPUT (インプット) 端子

アコースティックギターに取り付けられたピックアップ(ブリリアンプ)の出力、およびエレクトリックギターの出力を接続する端子です。

504IIを電池で駆動するとき、この端子にプラグを差し込むと、電源がオンになります。



【入力ゲインの設定】

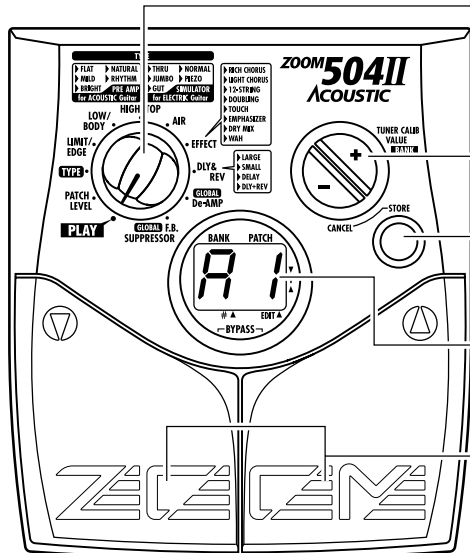
マグネット式ピックアップやシングルコイルのエレクトリックギターなど、出力レベルの低いピックアップをご使用になる場合、次の方法で入力ゲインを上げることができます。

- [▼]フットスイッチを踏みながら、504IIの電源を入れてください。ディスプレイに「HI-GAIN」とスクロール表示され、入力ゲインが高めに設定されます。

NOTE 入力ゲインの設定は、内部メモリーには記憶されません。電源を入れるたびに、そのつど設定してご使用ください。

DC 9V (ACアダプター) 端子

DC9Vセンターマイナス300mA (ズームAD-0006)のACアダプターを接続します。この端子にACアダプターを接続すると504IIの電源がオンになります。



[PLAY/EDIT]セレクトター

プレイモード(パッチを選んで演奏する状態)と、エディットモード(パッチを作り替える状態)を切り替えたり、エディットする項目を選ぶノブです。

[+]/[-]キー

バンクを上下に切り替えたり、設定項目を調節するときに使います。

[STORE] (ストア) キー

作り替えたパッチを保存したり、パッチを他の位置にコピーするときなどに使います。

ディスプレイ

パッチの番号や内部設定の値など、504IIを操作するのに必要な情報が表示されます。

[▼]/[▲]フットスイッチ

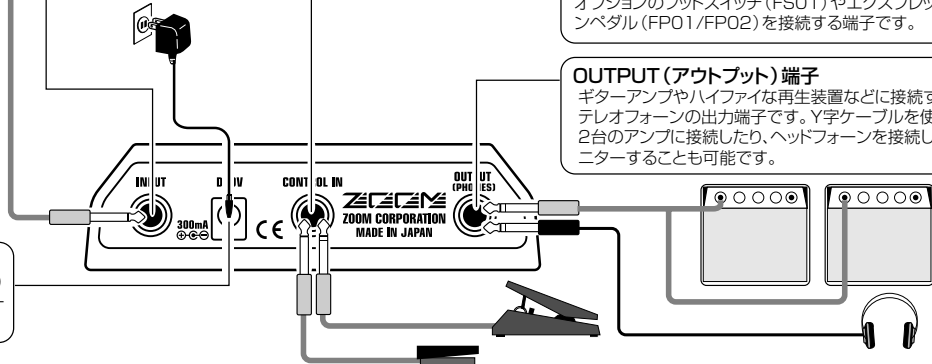
パッチを切り替えたり、チューナーを使うときなどに利用します。

CONTROL IN (コントロールインプット) 端子

オプションのフットスイッチ (FS01) やエクスペリションペダル (FP01/FP02) を接続する端子です。

OUTPUT (アウトプット) 端子

ギターアンプやハイファイな再生装置などに接続するステレオフォンの出力端子です。Y字ケーブルを使って2台のアンプに接続したり、ヘッドフォンを接続してモニターすることも可能です。



楽器を演奏しながらパッチを切り替えて、さまざまな効果を試してみましょう。

1 電源を入れる

- 電池で使用する場合は、504IIのINPUT端子にモノラルシールドケーブルを差し込んでください。
- ACアダプターで使用する場合は、ACアダプターをコンセントに差し込み、もう一方のプラグを504IIに接続してください。
- ギターアンプの電源を入れ、ボリュームを適切な位置に調節してください。

2 504IIをプレイモードに設定する

- [PLAY/EDIT]セレクトアが“PLAY”以外の位置にある場合は、“PLAY”の位置に合わせてください。



現在選ばれているバンクとパッチ番号は、ディスプレイで確認できます。

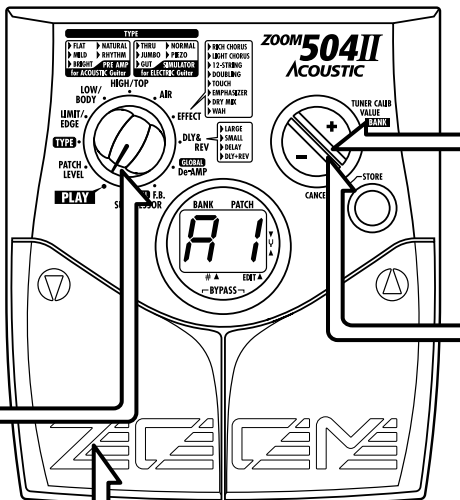
バンク名
パッチ
番号



504IIの電源を入れた直後は、[PLAY/EDIT]セレクトアが“PLAY”以外の位置に設定されていても、プレイモードとして動作します。

3 パッチを切り替える

- プレイモードでパッチを切り替えるには、[▼]/[▲]フットスイッチのどちらか一方を踏んでください。



4 バンクを直接切り替える

- A~Fのバンクを直接切り替えたいときは、[+] / [-]キーのどちらか一方を押してください。

5 マスターボリュームを調節する

- [+] / [-]キーの両方を1秒以上押し続けてください。



- マスターボリュームの値が表示されている間に、[+] / [-]キーのどちらか一方を押して値を変更してください。マスターボリュームの設定範囲は0~50です。電源を入れ直すと、40にリセットされます。



ヘッドフォンでご使用の場合はここで音量調節をすると便利です。

504 IIには、オートクロマチックチューナーが内蔵されています。チューナー機能は、504 IIがバイパス（エフェクトを一時的にオフにする）またはミュート（原音とエフェクト音を消音する）状態のときに、利用できます。

1 バイパス/ミュート状態に切り替える

- 504 IIをバイパス状態にする
プレイモードで[▼]/[▲]フットスイッチの両方を同時に踏み、すぐに離してください。



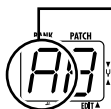
- 504 IIをミュート状態にする
プレイモードで[▼]/[▲]フットスイッチの両方を同時に踏み、1秒以上踏み続けてから離してください。



NOTE エディットモードからバイパス/ミュート状態に入ることできません。

2 チューニングを合わせる

- チューニングを合わせたい弦の開放弦を弾き、ピッチを調節してください。
ディスプレイの左側の桁に、最寄りの音名が表示されます。



A = A	D = d	G = G
A# = A.	D# = d.	G# = G.
B = b	E = E	
C = C	F = F	
C# = C.	F# = F.	

また、右側の桁には、ピッチがどれだけずれているかを示す記号が表示されます。



- 他の弦も、同じ要領でチューニングしてください。

3 チューナーの基準ピッチを調節したいときは

内蔵チューナーの基準となる中央Aの周波数を微調整することが可能です。

- [+] / [-]キーのどちらか一方を押してください。



基準ピッチの値

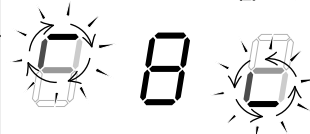
- 基準ピッチの値が表示されている間に、[+] / [-]キーを使って値を調節してください。
基準のピッチの値は35~45です。
(中央 A = 435Hz~445Hz)

NOTE 504 IIの電源を入れなおすと、基準ピッチが40 (440Hz) にリセットされます。

4 プレイモードに戻る

- [▼] / [▲]フットスイッチのどちらか一方を踏んでください。

高いピッチ 正確なピッチ 低いピッチ



ずれが大きいかほど表示の回転が速くなります

504 IIのパッチは、エフェクトパラメーターの設定値を変更することで、自由に作り替えることができます。現在選択されているパッチをエディットして、好みのエフェクトを作ってみましょう。

① エフェクトパラメーターを選択する

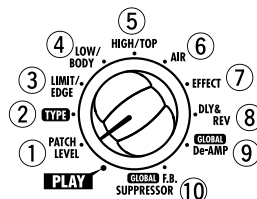
- [PLAY/EDIT]セクターを回し、エディットしたいパラメーターを選んでください。

現在選ばれているパラメーターの設定値がディスプレイに表示されます。また、エディットモードを表すディスプレイ右下のドットが点灯します。



[PLAY/EDIT]セクターで選択可能なエフェクトパラメーター

- ① パッチレベル
- ② TYPEパラメーター
- ③ LIMIT/EDGEパラメーター
- ④ LOW/BODYパラメーター
- ⑤ HIGH/TOPパラメーター
- ⑥ AIRパラメーター

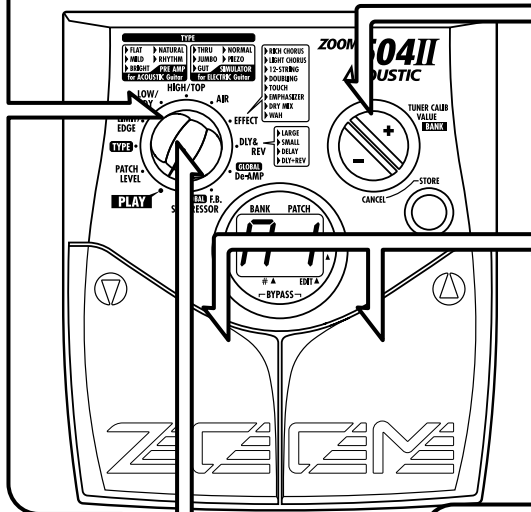


- ⑦ EFFECTパラメーター
 - ⑧ DLY&REVパラメーター
 - ⑨ De-AMPパラメーター (GLOBAL)
 - ⑩ F.B.SUPPRESSORパラメーター (GLOBAL)
- GLOBAL = グローバルパラメーター

② パラメーターの設定値を変更する

- [+]/[-]キーを押してください。

いずれか一方のキーを押し続けると、値が連続して変化します。片方のキーを押しながらもう一方のキーを押すと、値が素早く増減します。また、両方のキーを同時に押すと、途中をスキップして値が大きく変化します。



③ パラメーターのオン/オフを切り替えるには

- [▼]/[▲]フットスイッチを両方同時に踏んでください。

そのパラメーターがオフとなり、ディスプレイに“oF”と表示されます。もう一度両方のフットスイッチを踏めば、元の状態に戻ります。

この操作はパッチレベルとTYPEパラメーター(手順①②のパラメーター)では無効です。

④ エディットを終了する

- エディットを終了してプレイモードに戻るには、[PLAY/EDIT]セクターを“PLAY”の位置に合わせてください。



エディットしたパッチを保存せずに、プレイモードで他のパッチを選択すると、エディット内容が消去されてしまいますのでご注意ください。パッチの保存方法は、14ページをご参照ください。

エディットしたパッチは、本体内のどの位置にも保存できます。また、既存のパッチを別の位置に保存して、パッチのコピーを作ることでもできます。

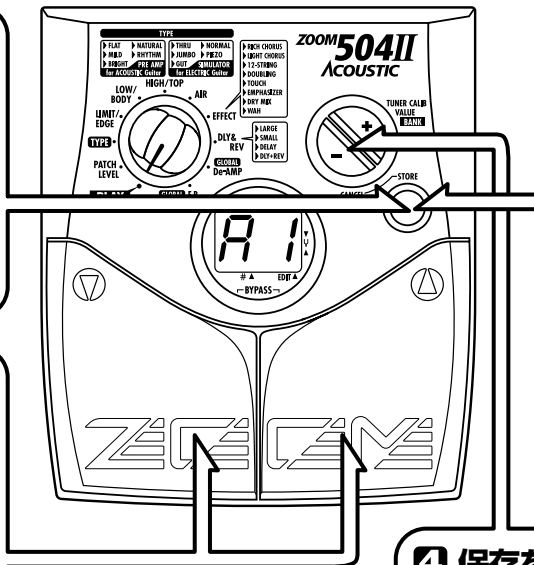
① プレイモードまたはエディットモードで [STORE] キーを押す

このときディスプレイのバンクとパッチ番号が点滅します。



② [▼] / [▲] フットスイッチを使って、保存／コピー先のパッチを指定する

NOTE パッチを保存／コピーするときは、[+] / [-] キーを使ってバンクのみを変更することはできません。



③ もう一度 [STORE] キーを押す

保存／コピーが完了すると、保存先のパッチが選択された状態で、元にしたモードに戻ります。



NOTE 保存／コピーを実行すると、それまで保存先にあったパッチは消去されます。大切なパッチを消去しないように、保存先の選択は慎重に行ってください。誤って工場出荷時のパッチを消去した場合は、個々のパッチ（あるいはすべてのパッチ）を工場出荷時の状態に戻すことが可能です。詳しくは 21 ページをご参照ください。

④ 保存をキャンセルしたいときは

- [STORE] キーの代わりに、[-] キーを押してください。

保存が中止され、元のモードに戻ります。

NOTE [-] キーを押す以外に、[PLAY/EDIT] セレクターを回した場合も、保存がキャンセルされます。

504 II の通常の操作では、プレイモードでパッチを切り替えたときに、即座にパッチが呼び出されて音色が変化します。

しかし、メモリー内の離れた位置にあるパッチを呼び出すときは、次々と音色が切り替わるため、この方式が不便に感じることもあります。こんなときは、パッチの呼び出し方として“プリセレクト方式”を選ぶこともできます。プリセレクト方式とは、あらかじめ次に呼び出したいパッチを選んでおき、確定操作を行ったときに初めてパッチが切り替わる方式です。

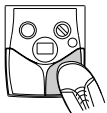
① パッチの呼び出し方をプリセレクト方式に変える

パッチの呼び出し方法をプリセレクト方式に切り替えるには、[▲]フットスイッチを踏みながら、504 II の電源を入れます。

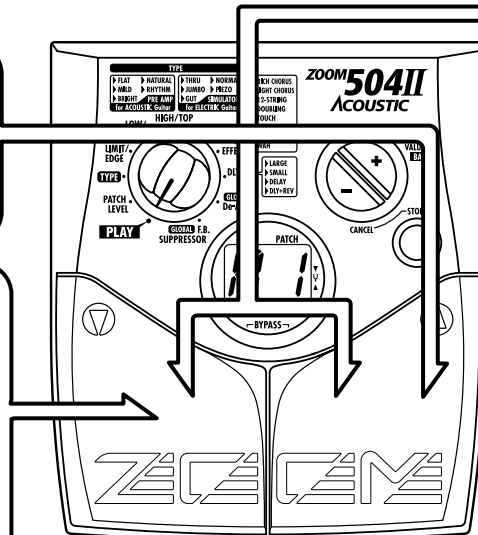
② 呼び出したいパッチを指定する

- プレイモードで、[▼]/[▲]フットスイッチを使って次に呼び出したいパッチを指定してください。

[+]/[-]キーを使ってバンクのみを切り替えることも可能です。

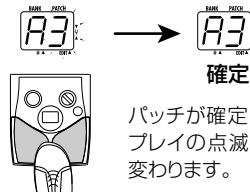


ディスプレイには、次に呼び出されるパッチのバンクやパッチ番号が点滅して表示されます(ただし、音色は切り替わりません)。



③ パッチを確定する

- 呼び出したいパッチが決まったら、[▼]/[▲]フットスイッチの両方を同時に踏んでください。



パッチが確定し、ディスプレイの点滅が点灯に変わります。

④ パッチの呼び出し方を通常の方式に戻したいときは

- 504 II の電源を入れ直してください。パッチの呼び出し方が自動的に通常の方式に戻ります。

フィードバックサプレッサーを使う

504 IIには、特定の周波数帯域(フィードバック周波数)をカットして、フィードバックを軽減するF.B.SUPPRESSORが搭載されています。F.B.SUPPRESSORは、プレイモードまたはエディットモードのどちらのモードでも使用できます。

■F.B.SUPPRESSORをプレイモードで使用する

演奏中フィードバックが発生したときに、CONTROL IN端子に接続されたフットスイッチFSO1(オプション)を使ってフィードバック周波数を自動検出する方法です。

1. FSO1のプラグを504 IIのCONTROL IN端子に挿入し、続いて504 IIの電源をオンにしてください。



504 IIの電源がオンのままCONTROL IN端子にFSO1を挿入すると、誤動作の原因となります。必ず、FSO1を挿入した後で、504 IIの電源をオンにしてください。

2. [PLAY/EDIT]セクターを回し、“F.B.SUPPRESSOR”に合わせてください。



3. [+]/[-]キーを使ってディスプレイに“SC”と表示させてください。

“SC”は、フィードバックを起こしている周波数を自動検出して、その周波数をカットするための設定値です。F.B.SUPPRESSORパラメーターの設定値を“SC”に変更するか、F.B.SUPPRESSORパラメーターをオフからオンに切り替えたときに、自動検出が始まります。



504 IIの電源を切った後でも“SC”の設定を記憶させておきたいときは、現在選ばれているパッチの保存操作を行ってください。

4. [PLAY/EDIT]セクターを“PLAY”の状態に戻してください。



5. 演奏中にフィードバックが発生したら、FSO1を2回踏んでください。

F.B.SUPPRESSORのオン/オフが切り替わり、504 IIが自動的にフィードバック周波数を検出して、その周波数をカットします。



■F.B.SUPPRESSORをエディットモードで使用する

エディットモードで、フィードバック周波数を自動または手動で検出する方法です。

1. 演奏中にフィードバックが発生したら、[PLAY/EDIT]セクターを回し、“F.B.SUPPRESSOR”に合わせてください。



504 IIがエディットモードに移行します。

2. [+]/[-]キーを使って、ディスプレイに表示される設定値を“SC”に変更してください。



すでに“SC”に設定されていた場合は、値を変更してからもう一度“SC”に戻してください。もしくは、[▼]/[▲]フットスイッチの両方(またはCONTROL IN端子に接続されたFSO1)を2回踏み、F.B.SUPPRESSORパラメーターをオフオンと切り替えてください。これで自動検出が開始されます。

3. 手順2を実行してもフィードバックがうまく軽減されない場合は、F.B.SUPPRESSORパラメーターを、1~30の範囲で最もフィードバックが軽減される値に設定してください。



電源を切った後でもF.B.SUPPRESSORパラメーターの設定値を記憶させておきたいときは、現在選ばれているパッチの保存操作を行ってください。

エクスプレッションペダル(FP01/FP02)を使う

504 IIのCONTROL IN端子にエクスプレッションペダルFP01/FP02(オプション)を接続すれば、ボリュームペダルまたはエフェクトパラメーターのコントローラーとして利用できます。

エクスプレッションペダルでコントロール可能なパラメーターについては26~29ページをご参照ください。

1. FP01/FP02のプラグを504 IIのCONTROL IN端子に挿入し、続いて504 IIの電源をオンにしてください。



504 IIの電源がオンのままCONTROL IN端子にエクスプレッションペダルを挿入すると誤動作の原因となります。必ず、エクスプレッションペダルを挿入した後で、504 IIの電源をオンにしてください。

2. プレイモードでパッチを選び、楽器を演奏しながらエクスプレッションペダルを前後に動かしてください。



前後に動かす



そのパッチでプログラムされた内容に応じて、ボリュームやエフェクトパラメーターが変化します。

エディット中でも、エクスプレッションペダルを使ってボリュームやエフェクトパラメーターを操作することは可能です。

工場出荷時の状態に戻す

504 IIには、工場出荷時に36のファクトリーパッチが保存されています。これらのファクトリーパッチは、他のパッチを上書きした後も、いつでも元の状態に戻せます。

パッチを元に戻す方法には、すべてのパッチ情報を工場出荷時の状態に戻す“オールイニシャライズ”と、任意のパッチのみを工場出荷時の状態に戻す“ファクトリーリコール”の2種類があります。

1. [STORE]キーを押しながら、INPUT端子(またはDC 9V端子)にプラグを挿入してください。

ディスプレイで“AL”の表示が点滅します。



■ オールイニシャライズを実行する場合

2. もう一度[STORE]キーを押してください。

すべてのパッチ情報が工場出荷時の状態に戻り、プレイモードに移行します。オールイニシャライズをキャンセルしたいときは、[-]キーを押してください。



オールイニシャライズを実行すると、ユーザーが保存したパッチはすべて消去されますので、操作は慎重に行ってください。

■ ファクトリーリコールを実行する場合

2. [▼]/[▲]フットスイッチを使って、工場出荷時の設定に戻すパッチを選択してください。

指定したバンク名/パッチ番号がディスプレイ上で点滅します。



ファクトリーリコール操作中は、[+]/[-]キーを使って、バンクのみを切り替えることはできません。

3. もう一度[STORE]キーを押してください。

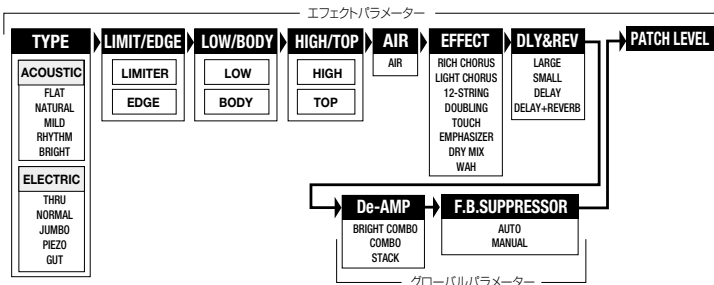
指定されたパッチが工場出荷時の状態に戻ります。

必要に応じて手順2~3を繰り返し、ファクトリーリコールを続けることができます。また、[-]キーを押せば、ファクトリーリコールを終了して、プレイモードに戻ります。

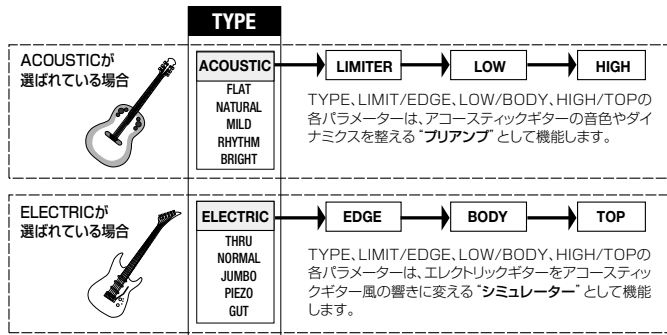
エフェクトのつながり

504 II のパッチは、10種類のエフェクトパラメーター(うち2種類がグローバルパラメーター)から構成されています。それぞれのパラメーターを適切な値に設定することで、パッチの音色が決まります。

また、各パラメーターのオン/オフを切り替えたり、特定のパラメーターの値をエクスプレッションペダルで操作できるようにプログラムすることも可能です。



TYPE、LIMIT/EDGE、LOW/BODY、HIGH/TOPの各パラメーターは、それぞれアコースティックギター用とエレクトリックギター用のパラメーターに分かれています。TYPEパラメーターで選ばれた設定値の種類(ACOUSTICまたはELECTRIC)に応じて、残り3つのパラメーターの内容が次のように変わります。



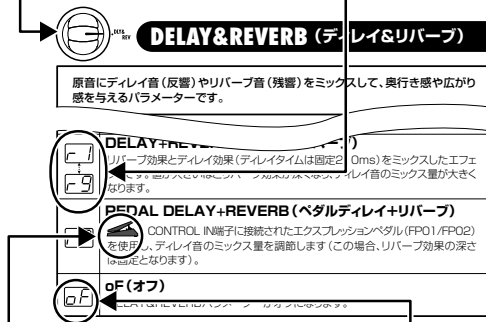
エフェクトパラメーター一覧

ここでは、すべてのパラメーターとその設定値について説明します。

■エフェクトパラメーター一覧の見方

[PLAY/EDIT]セレクトキー
そのパラメーターを呼び出すセレクトキーの位置を示しています。

ディスプレイ
それぞれのパラメーターで選択可能な設定範囲を表します。



エクスプレッションペダル
ペダルアイコン(🎸)が表記されている場合、その設定値を選んだときに、該当するパラメーターをエクスプレッションペダル(FP01/FP02)でコントロールできることを表しています。

HINT
1つのパッチの中でペダルアイコンのある設定値が1つも選択されていない場合、エクスプレッションペダルは、ボリュームペダルとして動作します。

パラメーターのオン/オフ
TYPE/パラメーターを除くすべてのパラメーターには、そのパラメーターを無効にする「OFF」という設定値が用意されています(エディットモードで[▼]/[▲]フットスイッチを両踏みしたときと同じ効果です)。

グローバルパラメーター
すべてのパッチに共通するグローバルパラメーターは、他のエフェクトパラメーターと区別するために、「GLOBAL」の印を記載します。





PATCH LEVEL (パッチレベル)



パッチごとの最終的な音量を調節するパラメーターです。この値が25に設定されたときに、入力レベルと出力レベルが均等(ユニティゲイン)となります。



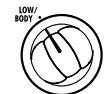
TYPE (タイプ)

ACOUSTIC		ELECTRIC	
アコースティックギター用のプリアンプの特性を選択します。		エレクトリックギターをアコースティックギターに変えるシミュレーターの特性を選択します。	
	FLAT (フラット) アコースティックギターの音色をそのまま再現するフラットな特性です。		THRU (スルー) シミュレーターを使用せず、エレクトリックギターの原音をそのまま使用します。
	NATURAL (ナチュラル) 音楽のジャンルや奏法を選ばない、アコースティックギターの自然な音色が得られる特性です。		NORMAL (ノーマル) オーソドックスなアコースティックギターの音色をシミュレートします。
	MILD (マイルド) マイルドで暖かみのある音色です。ピエゾピックアップを取り付けたアコースティックギターにお試しください。		JUMBO (ジャンボ) ボディの大きいアコースティックギターの音色をシミュレートします。
	RHYTHM (リズム) コードストローク奏法向きのタイトな音色です。		PIEZO (ピエゾ) ピエゾピックアップを搭載したアコースティックギターの音色をシミュレートします。
	BRIGHT (ブライツ) フィンガー奏法向きの明るい音色です。		GUT (ガット) ナイロン弦を張ったクラシックギターの音色をシミュレートします。



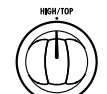
LIMITER/EDGE (リミッター/エッジ)

ACOUSTIC		ELECTRIC	
	LIMITER (リミッター) リミッターのかかり具合を調節します。値が大きいほどリミッターの効きが強くなり、ピーク成分が抑えられます。		EDGE (エッジ) エッジエフェクトのかかり具合を調節します。値が大きいほどアコースティックギターの弦の響きが強調されます。
		oF (オフ) LIMITER/EDGEパラメーターがオフになります。	



LOW/BODY (ロー/ボディ)

ACOUSTIC		ELECTRIC	
	LOW (ロー) ローEQのブースト量を調節します。値が大きいほど低音域が強調されます。		BODY (ボディ) シミュレートするボディの大きさを調節します。値が大きいほど箱鳴りの響きが強調されます。
		oF (オフ) LOW/BODYパラメーターがオフになります。	



HIGH/TOP (ハイ/トップ)

ACOUSTIC		ELECTRIC	
	HIGH (ハイ) ハイEQのブースト量を調節します。値が大きいほど高音域が強調されます。		TOP (トップ) 高音域を調節します。値が大きいほどハリのある音になります。
		oF (オフ) HIGH/TOPパラメーターがオフになります。	



AIR (エア)

	マイクで収音したような空気感をシミュレートします。値が大きいくほど、ギターをマイクから遠ざけて収音したオフマイクのサウンドになります。
	oF (オフ) AIRパラメーターがオフになります。







EFFECT (エフェクト)

音をさまざまな方法で加工する8種類のエフェクトタイプの中から1つを選択し、そのかかり具合を設定するパラメーターです。

	RICH CHORUS (リッチコーラス) 深みのあるコーラス効果です。値が大きいくほど、コーラスのかかり具合が大きくなります。
	PEDAL RICH CHORUS (ペダルリッチコーラス) CONTROL IN端子に接続されたエクスプレッションペダル (FP01/FP02) を使って、リッチコーラスのエフェクト音のミックス量を調節します。
	LIGHT CHORUS (ライトコーラス) 変調感を抑えて原音を重視した、軽めのコーラス効果です。値が大きいくほど、コーラスのかかり具合が大きくなります。
	PEDAL LIGHT CHORUS (ペダルライトコーラス) CONTROL IN端子に接続されたエクスプレッションペダル (FP01/FP02) を使って、ライトコーラスのエフェクト音のミックス量を調節します。
	12-STRING (12-ストリング) 12弦ギター風のサウンドが得られるエフェクトです。値が大きいくほど、効果が強くなります。
	PEDAL 12-STRING (ペダル12-ストリング) CONTROL IN端子に接続されたエクスプレッションペダル (FP01/FP02) を使って、12-ストリングの効果の強さを調節します。

	DOUBLING (ダブルング) 2人のプレーヤーが同じ音をわずかにずらして弾いたような、ダブルング効果を作り出します。値が大きいくほど、原音とエフェクト音のずれが大きくなります。
	PEDAL DOUBLING (ペダルダブルング) CONTROL IN端子に接続されたエクスプレッションペダル (FP01/FP02) を使って、ダブルングのエフェクト音のミックス量を調節します。
	TOUCH (タッチ) ピッキングのタッチを揃えるエフェクトです。値が大きいくほど、弱いピッキングでも1音1音をはっきり聞こえるようになります。
	PEDAL TOUCH (ペダルタッチ) CONTROL IN端子に接続されたエクスプレッションペダル (FP01/FP02) を使って、タッチエフェクトの効き具合を調節します。
	EMPHASIZER (エンファサイザー) 高音域の倍音を加えて、音色を強調するエフェクトです。値が大きいくほどギラついた感じの音色となります。
	PEDAL EMPHASIZER (ペダルエンファサイザー) CONTROL IN端子に接続されたエクスプレッションペダル (FP01/FP02) を使って、エンファサイザーの効果の深さを調節します。
	DRY MIX (ドライミックス) AIRモジュール通過後の信号に、ギターのアンプの原音をミックスします。値が小さいほどAIRモジュール通過後の信号のミックス量が増加し、値が大きいくほどギターのアンプのミックス量が増加します。
	 原音
	PEDAL DRY MIX (ペダルドライミックス) CONTROL IN端子に接続されたエクスプレッションペダル (FP01/FP02) を使って、AIRモジュール通過後の信号と原音のミックスバランスをコントロールします。 NOTE このエフェクトタイプで得られる効果は、AIRモジュール以前の各モジュールの設定に応じて異なります。AIRモジュール通過後の信号と原音との間に、大きな変化がない場合は、あまり効果が感じられない場合があります。











	WAH (ワウ) 1音1音に対してワウがかかる、オートワウのエフェクトタイプです。値が大きいほど、オートワウの感度が高くなります。
	PEDAL WAH (ペダルワウ)  CONTROL IN端子に接続されたエクスプレッションペダル (FP01/FP02) を使用し、ワウ効果をマニュアル操作でコントロールします。ペダル未使用時はオートワウとして機能します。
	oF (オフ) EFFECTパラメーターがオフになります。

	PEDAL DELAY (ペダルディレイ)  CONTROL IN端子に接続されたエクスプレッションペダル (FP01/FP02) を使用し、ディレイ音のミックス量を調節します (この場合、ディレイタイムは250mSとなります)。
 	DELAY+REVERB (ディレイ+リバーブ) リバーブ効果とディレイ効果 (ディレイタイムは210mS) をミックスしたエフェクトです。値が大きいほどリバーブ効果が深くなり、ディレイ音のミックス量が大きくなります。
	PEDAL DELAY+REVERB (ペダルディレイ+リバーブ)  CONTROL IN端子に接続されたエクスプレッションペダル (FP01/FP02) を使用し、ディレイ音のミックス量を調節します (この場合、リバーブ効果の深さは固定となります)。
	oF (オフ) DELAY&REVERBパラメーターがオフになります。

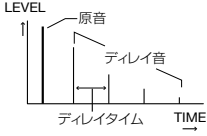


DELAY&REVERB (ディレイ&リバーブ)

原音にディレイ音 (反響) やリバーブ音 (残響) をミックスして、奥行き感や広がり感を与えるパラメーターです。

 	LARGE (ラージ) 比較的大きな部屋の残響をシミュレートします。値が大きいほど、リバーブ効果が深くなります。
	PEDAL LARGE (ペダルラージ)  CONTROL IN端子に接続されたエクスプレッションペダル (FP01/FP02) を使用し、リバーブ音のミックス量を調節します。
 	SMALL (スモール) 小さな部屋の残響をシミュレートするエフェクトタイプです。値が大きいほど、リバーブ効果が深くなります。
	PEDAL SMALL (ペダルスモール)  CONTROL IN端子に接続されたエクスプレッションペダル (FP01/FP02) を使用し、リバーブ音のミックス量を調節します。
 	DELAY (ディレイ) 最大ディレイタイム 370mSのディレイエフェクトです。値が大きいほど、ディレイタイム (ディレイ音同士の間隔) が長くなります。

LEVEL



原音

ディレイ音

ディレイタイム

TIME








値	ディレイタイム
1	100ms
2	150ms
3	180ms
4	215ms
5	230ms
6	250ms
7	280ms
8	340ms
9	370ms



GLOBAL

De-AMP (デアンプ)

アコースティックギターをギターアンプで鳴らしたときの、耳障りな帯域を軽減するパラメーターです。使用するギターアンプに応じてブライコンボ、コンボ、スタックのうちいずれか1つを選び、適切な値を選択してください。

 	BRIGHT COMBO (ブライコンボ) ブライトな音色を持つコンボ型アンプで鳴らしたときの、耳障りな帯域を抑えます。値が大きいほど効果が大きくなります。
 	COMBO (コンボ) コンボ型アンプで鳴らしたときの、耳障りな帯域を抑えます。値が大きいほど効果が大きくなります。
 	STACK (スタック) スタック型アンプで鳴らしたときの、耳障りな帯域を抑えます。値が大きいほど効果が大きくなります。
	oF (オフ) De-AMPパラメーターがオフになります。



GLOBAL

F.B.SUPPRESSOR (フィードバックサプレッサー)

フィードバックを起こしている周波数帯域(フィードバック周波数)を抑えることで、フィードバックを軽減します。フィードバック周波数は自動または手動で設定します。



AUTO SCAN (オートスキャン)

現在フィードバックを起こしている周波数を自動検出します。



MANUAL (マニュアル)

フィードバックを抑える周波数を手動で設定します。値が大きいほどフィードバックを抑える周波数が高くなります。



oF (オフ)

F.B.SUPPRESSORパラメーターがオフになります。

F.B.SUPPRESSORの使用法は、18~19ページをご参照ください。

主な仕様

エフェクト:	最大同時使用数 10エフェクト/33エフェクト
バンク/パッチ:	6バンク×6パッチ = 36パッチ(書き換え、保存可能)
Analog/Digital 変換:	16bit 64倍 オーバーサンプリング
Digital/Analog 変換:	16bit 8倍 オーバーサンプリング
サンプリング周波数:	31.25kHz
インプット:	ギターインプット 標準モノラルフォーンジャック (定格入力レベル=-20dBm/入力インピーダンス=470kΩ)
アウトプット:	ライン/ヘッドフォーン兼用アウトプット 標準ステレオフォーンジャック (最大出力レベル=+5dBm/出力負荷インピーダンス=10kΩ以上時)
コントロール端子:	オプションFP01またはFP02/FS01 接続端子
ディスプレイ:	2桁7セグメントLED
電源:	別売 ACアダプター DC9V センターマイナス300mA (ズーム AD-0006)
	電池 単三乾電池×4本 連続使用 約28時間(アルカリ)/約8時間(マンガン)
外形寸法:	145mm(D)×125mm(W)×40mm(H)
重量:	280g(電池含まず)

・0dBm=0.775Vrms

・製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

■ パッチリスト

アコースティックギター用のプリセットパッチ

BANK	PATCH	PATCH NAME	COMMENT	PEDAL
A [DEMO]	1	BAND LEAD	バンド演奏でも存在感のあるMIDなサウンド	DLY+REV
	2	SPACY-12	奏法を選ばないコーシラスな12弦サウンド	Large
	3	NUANCE	ピッキングのばらつきを抑えて、弾き易さに重点を置いたサウンド	Volume
	4	WHITE PAD	楽曲のサウンドを広げる空間系を演出したサウンド	Volume
	5	ACOUSTIC DRIVE	アコースティック・ディストーション・サウンド	Volume
	6	ACOUSTIC WAH	アコースティックギターとワウエフェクトで新境地を開拓!	Wah
b [WORLD]	1	J-FOLK	ジャパニーズ・フォーク・サウンドのシミュレーション	Volume
	2	HAWAIIAN STEEL	ラップスティールサウンドをシミュレート	DLY+REV
	3	DELTA BOTTLE	ボルトネック奏法やデルタスタイルブルースに最適なサウンド	Emphasizer
	4	ORIENTALIZE	伝統的なオリエンタリサウンドをシミュレート	12-string
	5	STREET BLUES	タイトなストリート・ブルース向けサウンド	Volume
	6	SPANISH GUT	情熱的なガットギター・シミュレート	Volume
C [VARIATION]	1	RESONATOR	ドブロー・サウンドが得られる	Volume
	2	DIMENSION	リッチなコーラス・アンサンブル・サウンド	Volume
	3	GRAPHITE BODY	グラファイトボディ製ギターのクセを表現したサウンド	Volume
	4	MIRACLE	SFX的なミラクルサウンド	Volume
	5	STUDIO STRUM	レコーディングクオリティのストロークサウンド	DLY+REV
	6	ARPEGGIAN	アルペジオに最適な広がりのあるサウンド	Volume
d [PLAY]	1	STUDIO FINGER	レコーディングクオリティのフィンガーピッキングサウンド	Volume
	2	ACOUSTIC MASTER	オールマイティなジャンゴ・サウンド	Volume
	3	POWER CHORD	コードをかき鳴らすのに適したパワーのあるサウンド	Volume
	4	THE CAPO	[カポ使用]を想定してチューニングしたサウンド	Volume
	5	BRILLIANT	オープンチューニング向けの優雅できらびやかなサウンド	DLY+REV
	6	UNIT LEAD	小編成アンサンブルのソロやブルに最適なサウンド	Light chorus
E [for ELECTRIC GUITAR]	1	EMOTION	エレガットギターに選した、情感ある楽曲に最適なサウンド	Dry mix
	2	THROB	サムピックスタイルのカントリーフィンガー奏法向きのサウンド	Volume
	3	SCENE	情景のあるサウンドをアルペジオのアプローチで演出	Volume
	4	WET	ピッキングでもワット感でもワット感が得られるサウンド	Large
	5	BRIGHT BOSSA	エレガットでのコード弾きやアルペジオも明るく響くサウンド	Volume
	6	FUNKY	エレガットとワウファンキーなアプローチのサウンド	Volume

※ BANK A~Eのパッチをギターアンプでご使用の場合は、De-AMP機能のご使用をお奨めします。

エレクトリックギター用のアコースティックシミュレーションパッチ

BANK	PATCH	PATCH NAME	COMMENT	PEDAL
F [DEMO]	1	STANDARD	ストレートなアコースティックギターサウンド	Volume
	2	EL-ACOUSTIC	ビーズピックアップのエレアコサウンド	Rich chorus
	3	12-PLUS	アルペジオ・リードともに最適な12弦ギターサウンド	12-string
	4	WARM QUALITY	厚いトーンをワウで演出してアコースティックにアプローチ	Wah
	5	SLIDE BOTTLE	エンファサイズされたスライドプレイ向きのサウンド	Delay
	6	NYLON	ナイロン・ギター風サウンドをシミュレート	Volume

※ BANK Fのパッチはシングルピックアップのフロントポジションでの演奏が最適です。

■ 使用上のご注意

他の電気機器への影響について

504 II は、安全性を考慮して本体からの電波放出および外部からの電波干渉を極力抑えております。

しかし、電波干渉を非常に受けやすい機器や極端に強い電波を放出する機器の周辺に設置すると影響がでる場合があります。

そのような場合は、504 II と影響する機器とを十分に距離をおいて設置してください。

デジタル制御の電子機器では、504 II も含めて、電波障害による誤動作やデータ破損、消失など思わぬ事故が発生しかねません。ご注意ください。

お手入れについて

504 II が汚れたときは、柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが落ちない場合は、湿らせた布をよくしぼってふいてください。

クレンザー、ワックスおよびアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐにINPUT端子に接続されているケーブルのプラグかACアダプターまたは電池を抜いて電源を切り、他の接続されているケーブル類も外してください。

「製品の型番」「製造番号」「故障、異常の具体的な症状」「お客様のお名前、ご住所、お電話番号」をお

買い上げの販売店またはズームサービスまでご連絡ください。

保証書の手続きとサービスについて

保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。

ご購入された店舗で必ず保証書の手続きをしてください。

万一、保証期間内に、製造上の不備による故障が生じた場合は、無償で修理いたしますので、お買い上げの販売店に保証書を提示して修理をご依頼ください。

ただし、つぎの場合の修理は有償となります。

1. 保証書のご提示が無い場合
2. 保証書にご購入の年月日、販売店名の記述が無い場合
3. お客様の取り扱いが不適当なため生じた故障の場合
4. 指定業者以外での修理、改造が不適当なため生じた故障の場合
5. 故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合
6. ご購入後に製品が受けた過度の衝撃による故障の場合
7. 本製品に起因しない事故や人災および天災による故障の場合
8. 消耗品(電池など)を交換する場合
9. 日本国外でご使用になる場合

■ 故障かな?と思う前に

● 電源が入らない	● 音量が小さい
8ページ「1 電源を入れる」をご参照ください。	出力の小さいピックアップを使用していませんか? 6ページをご参照ください。
● バッチが変わらない	● 電池の消耗が早い
バッチの呼び出し方がプリセレクト方式になっていないか、ご確認ください(16ページ参照)。	マンガン電池を使用していませんか? 連続使用可能時間は、アルカリで28時間、マンガンで8時間です。電池はアルカリ電池をお薦めします。



株式会社ズーム

〒183-0022

東京都府中市宮西町2-10-2ノアビル1階

TEL: 042-369-7111 FAX: 042-369-7115

ホームページ <http://www.zoom.co.jp>